

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループ第92期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の招集ご通知をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期、当社グループは昨年4月にスタートした中期事業計画「R1」で掲げた目標の達成に向けて、既存ビジネスの質を転換させる取り組みを実行するとともに新型コロナウイルス禍における医療関係や新たな生活様式における関連需要への対応を図ってまいりました。また、ニッケル水素電池事業およびリチウム電池事業においては工業用途向け製品の開発と生産能力の増強に努めることに加え、アルカリ電池事業については、国内市販向けビジネスに集中し、国内付加価値のさらなる強化により事業体質の強化を図り、ビジネスの安定化と利益ある成長の確立のため、海外生産子会社の全株式を譲渡いたしました。さらに新事業として位置づけているSMD対応小型全固体電池につきましては、前期より量産体制の構築を推し進めてきました結果、2020年12月より当社湖西工場で生産を開始いたしました。

当期の経営成績につきましては、売上高は、電池事業での伸長の一方で電子事業で前期に実施した一部事業の譲渡による売上減により前期に比べ5億79百万円減の615億43百万円となりました。営業利益はアルカリ乾電池の市販用途向けおよびリチウム電池のセキュリティ・スマートメータ用途向けが伸長するとともに、電子事業の選択と集中による損益の改善と一部事業の譲渡ならびに転進支援制度に伴う固定費の減少により、前期に比べ9億2百万円増の17億43百万円となりました。経常利益は為替差損4億38百万円の計上などがありましたが、前期に比べ7億8百万円増の12億74百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は関係会社株式売却益9億68百万円などの計上により、20億9百万円（前期は23億40百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。当期の業績の詳細につきましては、当招集ご通知の18ページから22ページをご覧ください。

配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

中期事業計画「R1」の2年目となる2021年度は、引き続き既存ビジネスの安定化と利益ある成長に向けて、新事業と位置づけるSMD対応小型全固体電池の顧客ベースの拡大やニッケル亜鉛電池、水素／空気二次電池の開発をさらに推し進めるとともに新電池それぞれのビジネスプラン策定などのさまざまな施策を実行してまいります。また、2021年1月に制定した「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、当社グループのステークホルダーのすべての方に満足いただく「And Game」の実現のため、従業員各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成を加速させ、企業価値の向上を推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
長野 良

2021年6月

連結決算ハイライト

売上高

615億43百万円

単位:百万円



営業利益

17億43百万円

単位:百万円



経常利益

12億74百万円

単位:百万円



親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

20億9百万円

単位:百万円

